

令和4年3月20日(日)15時 開通予定

国道42号 田辺西バイパス 田辺市芳養町清地路~同町大屋

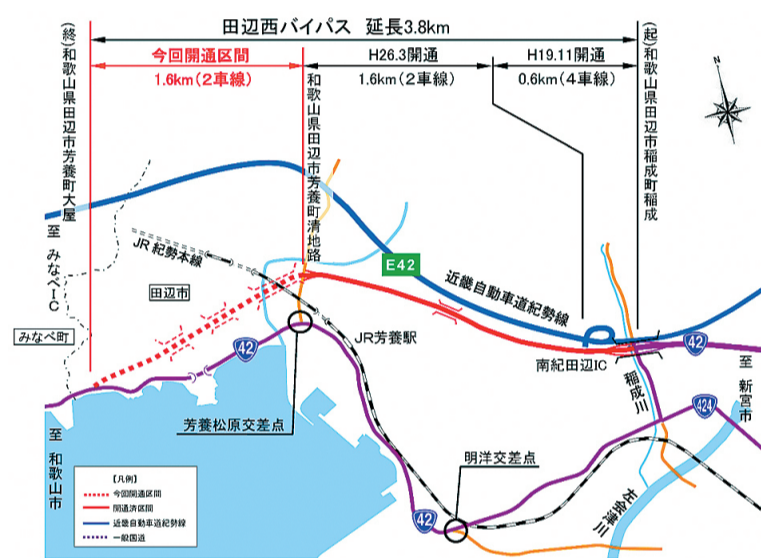
~交通混雑の緩和、地域住民の利便性向上などに寄与~

国土交通省が整備を進めてきた、国道42号 田辺西バイパス(田辺市芳養町清地路~同町大屋)が令和4年3月20日(日)に開通する。

この区間の開通により、田辺西バイパスは全線開通することになる。
【開通予定日】令和4年3月20日(日)15時
【開通区間】国道42号 田辺西バイパス(田辺市芳養町清地路~同町大屋) / 延長1.6km
【開通による整備効果】
◇交通混雑の緩和 田辺西バイパスに並行する国道42号(現道)では明洋交差点において交通混雑が発生していたが、平成26年3月、田辺西バイパスの部分開通により交通混雑が緩和した。
◇交通安全の確保 国道42号の現道では、田辺西バイパスの部分開通前の死傷事故率は1.2件/億台キロであったが、部分開通後は41件/億台キロにまで低下した。
◇災害時の交通確保 今回の開通により、更なる交通死傷事故率の低下が期待される。

今回の全線開通により交通混雑の緩和が期待される。
◇地域住民の利便性向上 田辺西バイパスの部分開通により、みなべ町から地震時に予想される津波浸水被害が短縮した。今回の全線開通により、みなべ町民の更なる利便性向上が期待される。
◇交通安全の確保 国道42号の現道では、田辺西バイパスの部分開通前の死傷事故率は1.2件/億台キロであったが、部分開通後は41件/億台キロにまで低下した。
◇災害時の交通確保 今回の開通により、更なる交通死傷事故率の低下が期待される。

田辺西バイパスと並行する国道42号(5.6km)について、東南海・南海地震時に予想される津波浸水被害の予測延長は約4km(約7割)が被災である。
東南海・南海地震時の津波により、国道42号が浸水した際には、田辺西バイパスが迂回路および避難路として機能することによって、物流や市民生活の機能確保が期待される。



令和4年3月26日(土)15時 開通予定

函館・江差自動車道 茂辺地木古内道路 北斗茂辺地IC~木古内IC

~観光活性化・輸送効率化などを支援~

国土交通省が整備を進めてきた、函館・江差自動車道 茂辺地木古内道路(北斗茂辺地IC~木古内IC)が令和4年3月26日(土)に開通する。
【開通予定日】令和4年3月26日(土)15時

【開通による整備効果】
◇道南地域の観光活性化を支援 道南地域は、北海道新幹線、函館港(クルーズ船岸壁)の整備により、近年、観光入込客数、訪日外国人宿泊客数が増加傾向にある。木古内町をはじめとする周辺地域では、道南西部9町を巡る観光モデルルートを紹介するなど、周遊観光活性化に向けた取組を実施している。
◇道南地域の観光活性化を支援 今回の整備により、昨年度開通した函館新外環状道路と一体となり、函館空港から主要観光地までのアクセス強化が図られるなど、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んだ道南地域における観光活性化を支援する。
◇速達性・安定性向上による救急搬送の支援 道南地域の三次医療施設カバリー面積は全国平均の約5倍と大きく、渡島西部・

市場でも身焼けが少ないと高評価を得ている。今回の整備により、道南地域における主要な農産物や水産物の輸送効率化を支援する。
◇緊急時の避難・救護ルートの形成 茂辺地木古内道路に並行する区間には、津波浸水想定区域が存在しており、東北地方太平洋沖地震発生時には、国道228号の北斗市~知内町間で約28時間の通行止めが発生した。開通済み区間である北斗追分IC~北斗富川IC間



には8箇所緊急避難施設が設置されており、津波浸水時における地域住民の避難場所となっている。今回の整備により、津波

国土交通省は、高速道路の暫定2車線区間について、令和元年9月に課題の大きい区間を優先整備区間(約880km)として選定し、4車線化を順次事業化している。

昨年11月に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、防災・減災、国土強

靱化の推進など安全・安心の確保のため高速道路等の整備が示されていることから、財政投融資を活用し、4車線化を実施することとした。

今回、来年度に新たに着手する4車線化の候補箇所として災害、渋滞、事故発生箇所などを総合的に勘案し、計7箇所約43kmを選定した。

今後、予算成立後の事業許可に向けて、必要な手続きを行っていくこととしている。

また、残る優先整備区間についても、財源の確保状況等を踏まえ、順次整備を進めるとしている。

国土交通省は、高速道路の暫定2車線区間の4車線化

事業区間名	延長	事業費	都道府県
道東自動車道 トナムIC~十勝清水IC	約5.9km	280億円	北海道
常磐自動車道 広野IC~ならはSIC	約5.6km	310億円	福島県
東海北陸自動車道 福光IC~南砺SIC	約4.6km	80億円	富山県
舞鶴若狭自動車道 小浜西IC~小浜IC	約7.6km	610億円	福井県
米子自動車道 溝口IC~米子IC	約4.8km	170億円	鳥取県
浜田自動車道 大朝IC~旭IC	約11.2km	750億円	島根県 広島県
東九州自動車道 津久見IC~佐伯IC	約3.3km	370億円	大分県
合計	約43km	2,570億円	

3駅が登録され、全国で1,194駅に!

都道府県	駅名	設置箇所	路線名	整備手法	オープン予定
新潟県	あがの	新潟県阿賀野市窪川原553番2	一般国道49号	一体	令和4年度
広島県	西条 のん太の酒蔵	広島県東広島市西条町寺家10020番地43	一般国道2号	一体	令和4年度
佐賀県	うれしの まるく	佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲4370番地2	一般国道34号	一体	令和4年度

(注) 道の駅の整備手法には、道路管理者と市町村長等で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類あり、上表「整備手法」欄では、「単独」「一体」と記載している。

道の駅 第56回登録

令和4年度「道路ふれあい月間」推進標語募集

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等各種活動を特に推進しているが、この一環として、令和4年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集している。

道路は、国民の日常生活や経済活動に欠くことのできない重要な公共施設である。道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのでき

が、あまりにも身近な存在であるため、その役割や重要性が見過されがちである。そこで、この推進標語の募集を通じて、道路の役割や重要性を改めて認識していただくことを目的としている。

《応募資格》小学生以上

《応募方法》電子メール又ははがき(1人2作品まで応募可能)

《募集期間》令和4年3月25日(金)まで(当日必着)

《入選作品》

《応募部門・賞》
〔小学生の部〕最優秀賞1作品 優秀賞2作品
〔中学生の部〕最優秀賞1作品 優秀賞2作品
〔一般の部(高校生以上)〕最優秀賞1作品 優秀賞2作品
《表彰》
入選作品は決定次第、本人に直接通知するとともに、国土交通省ホームページ等で発表し、「道路ふれあい月間」の推進に幅広く活用される。

詳細は https://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000109.html